

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	地域DMO	
日本版DMO法人の名称	十勝川温泉旅館協同組合 法人番号：4601-05-000306	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	北海道音更町	
所在地	北海道河東郡音更町十勝川温泉北15丁目1番地	
設立時期	昭和30年3月28日	
職員数	15人	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	(氏名) 林 文昭 (出身組織名) 十勝川温泉旅館協同組合	音更町十勝川温泉観光協会の会長として、音更町の観光振興に指導的役割を果たしているほか、音更町総合計画審議会会長代理も務めるなど、音更町の観光振興・まちづくりに多大な成果を挙げている。
各種データの分析・収集等（マーケティング）	(氏名) 松崎康行「専従」 (出身組織名) 十勝川温泉旅館協同組合	十勝川温泉旅館組合及び旅館協同組合並びに十勝川温泉開発有限会社の事務局次長として、2年間勤務。十勝川温泉中心市街地再生事業の事業計画策定・運営計画策定等で企画・マーケティングを実施している。
事業計画策定	(氏名) 笹井尚之 (出身組織名) 十勝川温泉旅館組合	十勝川温泉旅館組合活性化委員長として、温泉街全域の将来像（グランドデザイン）を策定するとともに、観光・交流人口の増加のための各種事業を展開している。
プロモーション事業	(氏名) 山岡しのぶ (出身組織名) (株)リクルート北海道じゃらん ガーデンスパ十勝川温泉 支配人 (knot プランナー)	民間リクルート北海道じゃらんで営業担当として10年間勤務し、knot プランナーとして十勝管内の主要ホテルの経営コンサルやマーケティングを行い高い知見と能力を持つ。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	音更町商工観光課（観光振興）、産業連携課（地域ブランド） 都市計画課（都市整備、まちづくり） オブザーバー：池田町商工観光課、幕別町商工観光課(将来的な観光振興)	
連携する事業者名及び役割	十勝川温泉観光振興協議会（十勝川温泉地区の観光振興） 十勝エコロパーク財団（道立公園エコロジーパーク利用促進） 音更町十勝川温泉観光協会（観光振興事業推進・イベント開催） 十勝川温泉旅館組合（十勝川温泉地区の観光広告・宣伝） JTB北海道帯広支店（観光マネージメントサポート） 商工組合中央金庫帯広支店・北海道銀行音更支店、帯広信用金庫木野支店等 金融機関（事業推進のための資金協力及び助言） 音更町商工会（音更町商工会会員との連携促進・食と観光の連携促進及びイベント開催） JAおとふけ・JA木野・音更町物産協会（食・農業と観光の連携促進） とかちシーニックバイウエイ（観光振興事業推進） 帯広大谷短期大学・音更高等学校（高等教育機関との連携促進） 十勝バス・拓殖バス・おびうん観光（2次交通対策）	

(別添) 様式 1

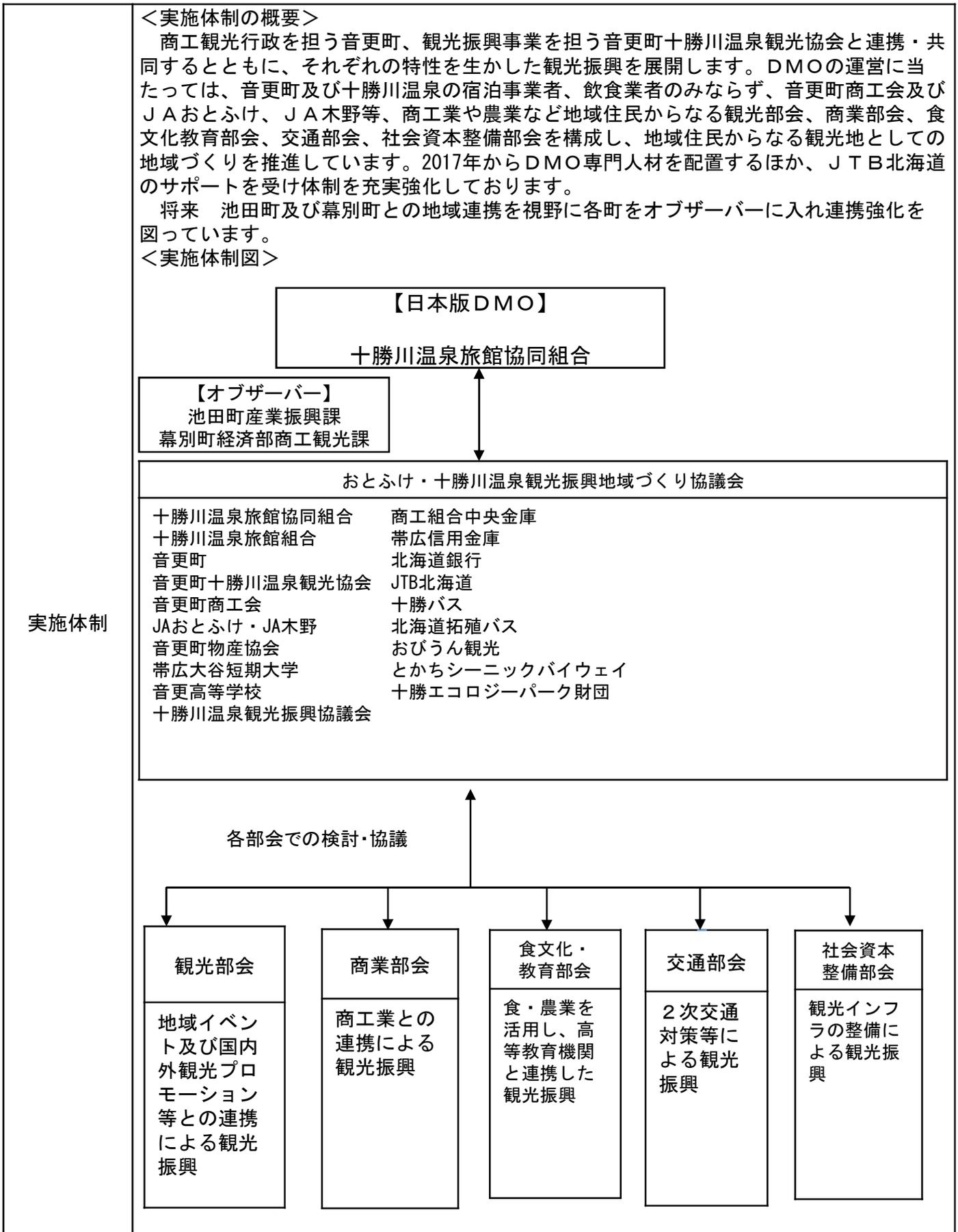
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p><該当する要件> ③ 日本版DMOが行う取組に関する連絡調整を行うため、行政や関係団体から構成される協議会「おとふけ・十勝川温泉観光振興地域づくり協議会」を設置し、合意形成を行っています。 おとふけ・十勝川温泉観光振興地域づくり協議会名簿：別添資料</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組み</p>	<p>北海道遺産「モール温泉」を活用し、美と健康をテーマに住民参加型のワークショップを1回/期実施し、観光商品への反映や特に、女性の参加を募り、女性目線での商品化開発に反映しています。</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p><活動の概要> 1 北海道遺産「モール温泉」を核とする観光振興事業を展開 北海道遺産「モール温泉」を資源とする観光振興を音更町十勝川温泉観光協会及び音更町と共同で推進 2 音更町と共同した十勝川温泉中心市街地再生事業における観光振興 音更町と連携した廃墟ホテルの解体と跡地再整備を柱とする十勝川温泉中心市街地再生事業を平成26年から4ヶ年を実施しました。 平成28年12月に北海道遺産「モール温泉」、十勝の食、体験型観光をメインに「美と健康」をテーマに、音更町の新たな観光拠点施設「ガーデンSPA十勝川温泉」の運営を十勝川温泉旅館協同組合が担い、約19万人の日帰り客数の向上がありました。 本事業の実施による音更町への宿泊入込数は、新拠点施設オープン及びDMO効果現在、昨年比2万人増となっている。 3 十勝川温泉地区の事業者との連携強化 十勝川温泉地区の観光関連団体及び飲食店、商店組合、町内会等で組織する十勝川温泉観光振興協議会の事務局業務を担う。 4 シーニックバイウエイ「トカプチ雄大空間」への参加と観光コンシェルジェ育成に寄与 地域と行政が連携し、地域の魅力を道でつなぎながら個性的な地域づくり・美しい観光地づくりを図る「シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間」へ参加するとともに、十勝に住む人が十勝の良さを伝える観光コンシェルジェ育成に寄与</p>

<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>5 十勝川流域における着地型観光振興事業の展開 観光旅行の形態が「団体型」から「個人型」へ転換する中、着地型の観光事業を積極的に展開しており、以下の点3つの基準計画をもって取り組んでおります。</p> <p>(1) 基準計画Ⅰ 「恒例観光イベントの更なる磨き上げ」 ア ハナック花ロードに連動したガーデンスパ十勝川温泉での地元住民参加型の花いっぱい運動の実施、地域住民とのふれあいやコミュニケーションを図っています。 イ 音更町十勝川温泉オータムフェスト2017に連携した「もてなし料理」や「ハロウィンイベントコンサート」「ハロウィン体験教室」など地域取り組みに新たな事業を追加し実施しています。</p> <p>(2) 基準計画Ⅱ 「音更町・十勝川温泉の観光資源・滞在コンテンツの充実」 ア 自然や景観を満喫するほか、アウトドア体験等十勝川流域エリア(音更町、池田町、幕別町)を活用した既存の観光資源を磨き上げるとともに、訪日外国人に対し日本人の健康長寿命の秘訣「美と健康」をテーマに音更町の植物性モール温泉を活用したガーデンスパ十勝川温泉を拠点としたヘルスツーリズムを提供し新たな滞在型のコンテンツを充実しています。 イ 既存の観光資源の磨き上げとガーデンスパ十勝川温泉との接続 十勝の大自然を満喫する観光資源、熱気球や十勝川下りなどのアウトドア体験やガーデンスパ十勝川温泉での体験内容を充実し、継続的に体験観光を実施する。</p> <p><活動の概要></p> <p>(7) 十勝ネイチャーセンターによるアウトドア体験</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 通年：熱気球、川下り<input type="checkbox"/> 夏季：サイクリング、フットパスウオーキング<input type="checkbox"/> 冬季：スノーモビル・ラフフィング、ワシクルーズ、スノーシュー <p>(イ) 「美と健康」をテーマに音更町の植物性モール温泉を活用し、ガーデンスパ十勝川温泉を拠点としたヘルスツーリズムの提供</p> <p>① 食：身体の中から綺麗になる。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> ラクレットなどの美食(体験工房)<input type="checkbox"/> 十勝ワインによる健康効果<input type="checkbox"/> ワイン城での体験の充実<input type="checkbox"/> 体験工房を活用した熟成体験(生ハム作成、味噌作りなど)<input type="checkbox"/> 気球の丘及びアウトドアキッチンでの体験キャンプ・バーベキューの実施<input type="checkbox"/> 十勝川温泉旅館組合加盟ホテルの手作り味噌・生ハムによるおもてなし料理 <p>② 温泉：身体の外から綺麗にする。</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> スパでの水着着用スパ及びホットヨガデトックス<input type="checkbox"/> モール温泉コスメで綺麗になる。<input type="checkbox"/> 温泉マスター資格者による提案 <p>(3) 基準計画Ⅲ「北海道開発局が実施する十勝川「かわまちづくり」との連携」 音更町、池田町及び幕別町の十勝川流域の道立公園エコロジーパーク、河川公園及びガーデンスパ十勝川温泉などを活用した観光振興の促進を考えています。</p>
---------------------	--

(別添) 様式 1

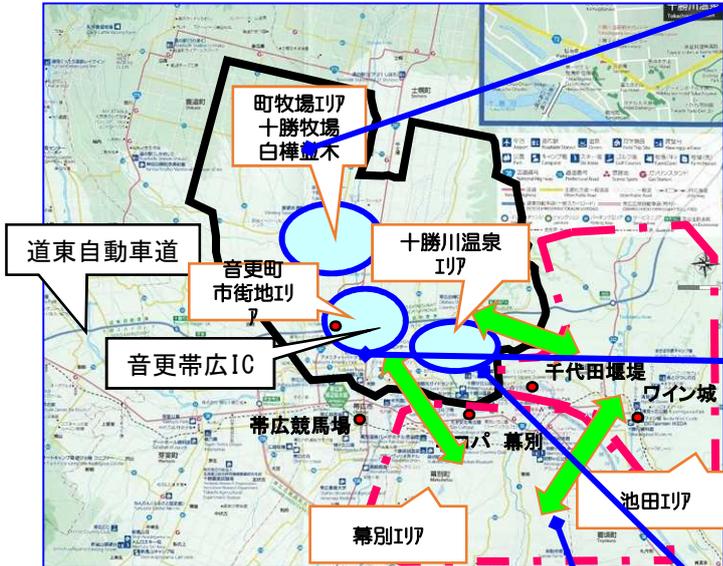
法人のこれまでの活動実績	<p>(4) 音更町基幹産業である農業と観光の連携事業への協力 修学旅行生を対象とした農業体験の実施し、農業と観光に取り入れた取り組みを行っております。</p> <p>6 音更町十勝川温泉観光協会と連携し国内外観光客誘致宣伝活動を実施 特に、外国人を含む観光振興による交流人口の拡大を重点施策とし、香港、台湾、シンガポール、タイへの誘致宣伝活動を音更町十勝川温泉観光協会と連携・協力して実施しております。</p> <p><定量的な評価></p> <p>1 出資数・金額 : 2,810口、2,810万円 2 組合員数 : 7館 3 年間売上高 : 1億7,300万円 4 売上純利益 : 1億0,200万円</p>
--------------	---

(別添) 様式 1



2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲】



農村・牧場エリア

十勝の広大な牧場や畑(十勝牧場、菜の花畑、ひまわり畑など)、自然環境(十勝牧場白樺並木)を活かした観光事業の促進

市街地エリア

- 1 十勝音更の食文化など地域資源を活かした魅力創造
- 2 商店街におけるインバウンド消費の拡大による地域活性化(「柳月」「よつ葉乳業」工場見学、音更町商工会との連携、免税店の拡大)

十勝川温泉エリア

- 1 音更町基幹産業の農業と観光の連携事業及びの自然環境を活かし道東周遊観光の促進
- 2 自然環境とマッチしたアウトドア体験型観光「着地型観光」を促進
夏：熱気球、川下りツアー、
冬：「彩凜華」、スノーラフティング、スノーシュー
- 3 「ガーデンスパ十勝川温泉」を核としたモール温泉と食と農を観点とした体験型観光の魅力創造

十勝川流域エリア

音更町以外の十勝川流域の池田町や幕別町の観光資源と連携した周遊 体験型観光の創造

音更町：アケバパークやガーデンスパ十勝川温泉での「ランナイト」新イベント開催
池田町：十勝唯一のワイン製千代田堰堤ブドウ園の景観
幕別町：エコパ「幕別エリア」魚道

【区域設定の考え方】

音更町は、北海道十勝の中央に位置し、北海道遺産「モール温泉」や北海道・十勝の自然を活かしたアウトドア体験観光を主要な観光資源としています、

日本版DMOがマーケティング・マネジメントする区域は音更町全域としますが、町内を大きく3つのエリアに区分し、観光振興事業を展開します。

①【農村・牧場エリア】

十勝の広大な牧場・畑(十勝牧場、菜の花畑など)及び自然環境(十勝牧場白樺並木)を有する。

②【市街地エリア】

十勝音更の食文化など地域資源の魅力を感じられるエリア。和洋菓子「柳月」及び「よつ葉乳業」工場などの商業施設を有する。

③【十勝川温泉エリア】

北海道遺産「モール温泉」をテーマとした新拠点施設「ガーデンスパ十勝川温泉」を中心に宿泊施設が立ち並ぶ温泉地とアウトドア体験観光の拠点である。

④【十勝川流域エリア】 将来の連携を視野に入れた検討内容

音更町以外の十勝川流域の池田町や幕別町の観光資源と連携した周遊 体験型観光の創造

2. 日本版DMO法人がマーケティング・マネジメントする区域

【観光客の実態等】

平成29年度音更町宿泊客延数 : 約44万2千人 減少傾向にあったが、平成29年度は増加
うち外国人宿泊客延数 : 7万7千人 増加傾向であり、更なる誘致を図る。

【観光資源 : 観光施設、商業施設、農業、自然、イベント、アウトドア】

1 農村・牧場エリア

(主な観光資源)

自然 : 家畜改良センター十勝牧場(展望台、白樺並木など)、音更川

農業 : 菜の花畑、ひまわり畑など

(主な取組内容)

- ①十勝の広大な農村景観(十勝牧場、菜の花畑など)や自然環境(白樺並木)を活かした観光振興の促進
- ②地元農家が主催する「麦感祭」(ばっかんさい)による交流型コンテンツの充実

2 市街地エリア

(主な観光資源)

観光施設 : 鈴蘭公園

街 道 : おとふけメロディーライン(音更帯広ICと十勝川温泉を結ぶ町道)

商業施設 : 柳月スイートピアガーデン、よつ葉乳業十勝主管工場、道の駅おとふけなど

(イベント)

みのりーむフェスタおとふけ、商工会納涼花火大会、鈴蘭公園夜桜ライトアップ

(主な取組内容)

- ① 十勝音更の食文化など地域資源を活かした魅力創造
- ② 商業施設におけるインバウンド消費の拡大による地域活性化
(「柳月」・「よつ葉乳業」工場見学、音更町商工会との連携による「おとふけメロディーライン」を活用した観光振興、免税店の拡大など)

3 十勝川温泉エリア

(主な観光資源)

自然：十勝川、白鳥・タンチョウ・オオワシなどの野鳥、十勝が丘展望台からの十勝平野と丘陵地帯

観光施設：公園（十勝が丘公園（ハナック）、十勝川温泉アクアパーク、十勝エコロジーパーク）
十勝川温泉、十勝が丘展望台、十勝川温泉中心多目的広場「ガーデンスパ十勝川温泉」

(イベント・アウトドア)

花風景ハナックと花ロード（夢ポタル鑑賞会）、オータムフェスタ in 十勝川

十勝川白鳥まつり「彩凜華」

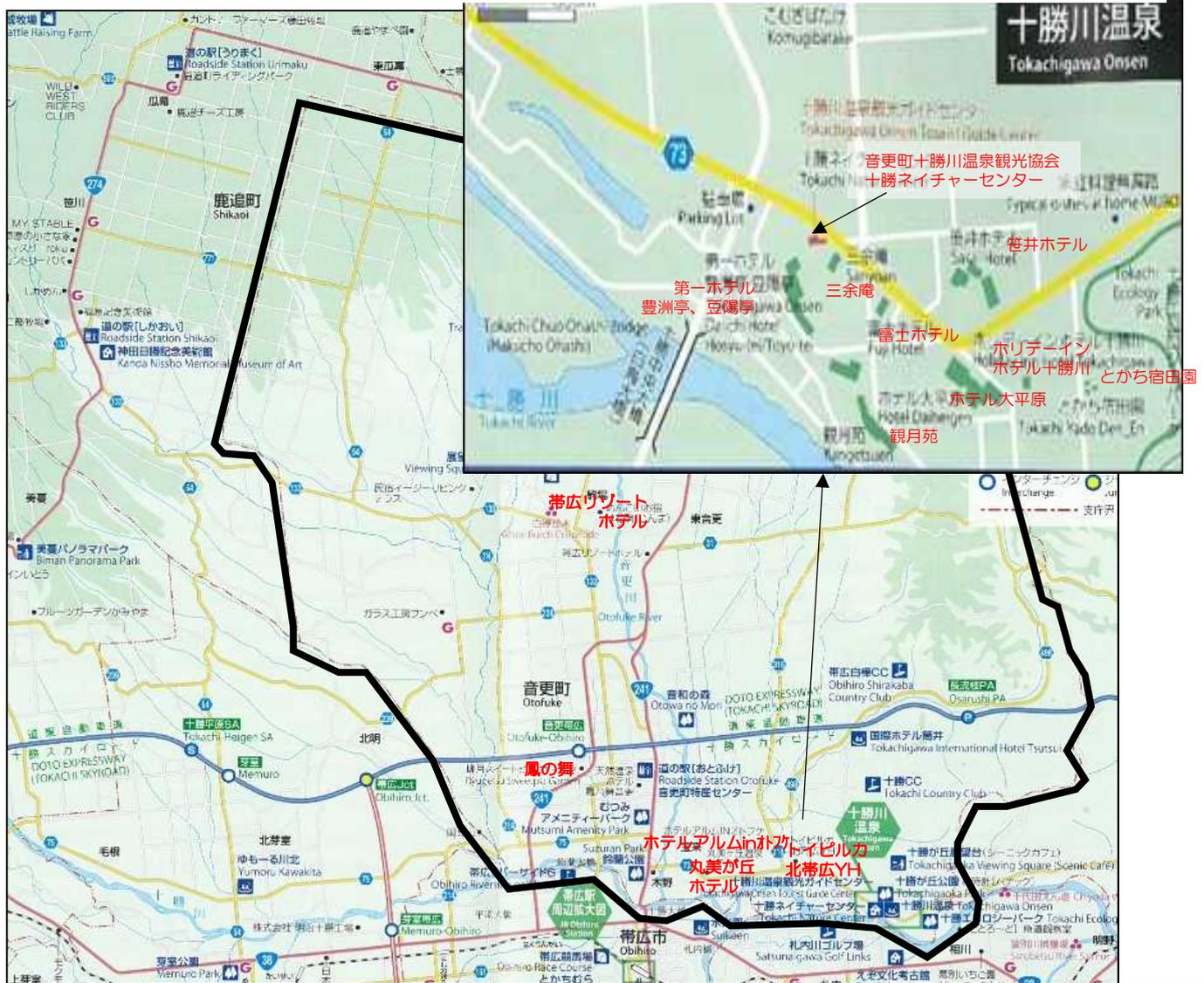
農業体験、熱気球、十勝川の川下り（ネイチャーツアー、ワシ観察クルーズ）、ノルディックウォーキング、フットパスウォーキング、スノーラフティング、スノーモビル、スノーシュー各種体験

【主な取組内容】

- ① 音更町基幹産業の農業と観光の連携事業
- ② 自然環境とマッチしたアウトドア体験型観光の促進
- ③ 十勝川温泉中心多目的広場「ガーデンスパ十勝川温泉」を活かした観光振興
 - 北海道遺産「モール温泉」の魅力発信
 - 多目的ホールや芝生広場を活用したイベント開催
 - チーズや生ハムなど「熟成」をテーマにした十勝の豊かな食文化の魅力発信
 - 外国人観光客を受け入れる環境整備（水着着用温浴施設整備）

(別添) 様式 1

【宿泊施設（域内分布、施設数、収容規模等）】（主要な宿泊施設を表示）

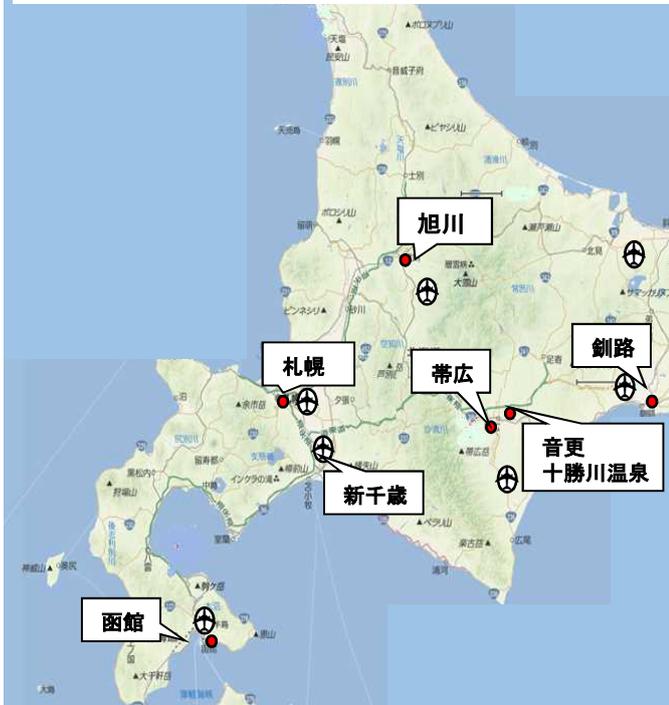


	ホテル名称	収容人員	過去5年間平均宿泊人数	施設規模等	モール温泉	
十勝川温泉	観月苑	459	342,000	104室、日帰り入浴	モール温泉集中管理システム加盟	
	ホテル大平原	770		162室、日帰り入浴	同上	
	第一ホテル	466		122室、日帰り入浴	同上	
	笹井ホテル	500		117室、日帰り入浴	同上	
	筒井ホテル	450		95室、日帰り入浴	モール温泉	
	富士ホテル	80		40室、日帰り入浴	モール温泉	
	ホリデーインホテル十勝川	300		64室、日帰り入浴	モール温泉	
	エコパ(コテージ・キャンプ)	61				
	とちの田園	25			10室	モール温泉
	帯広リゾートホテル	200		30,000	41室、日帰り入浴	モール温泉
丸美が丘ホテル	12	3室、日帰り入浴	モール温泉			
鳳の舞音更	110	61室、日帰り入浴	モール温泉			
イージーリビング	7	4室				
トリビカル北帯広YH	18	8室				
ロジラッキーフィールド	8	4室				
ホテルアルムinオトフケ	65		39室			
合計			372,000			

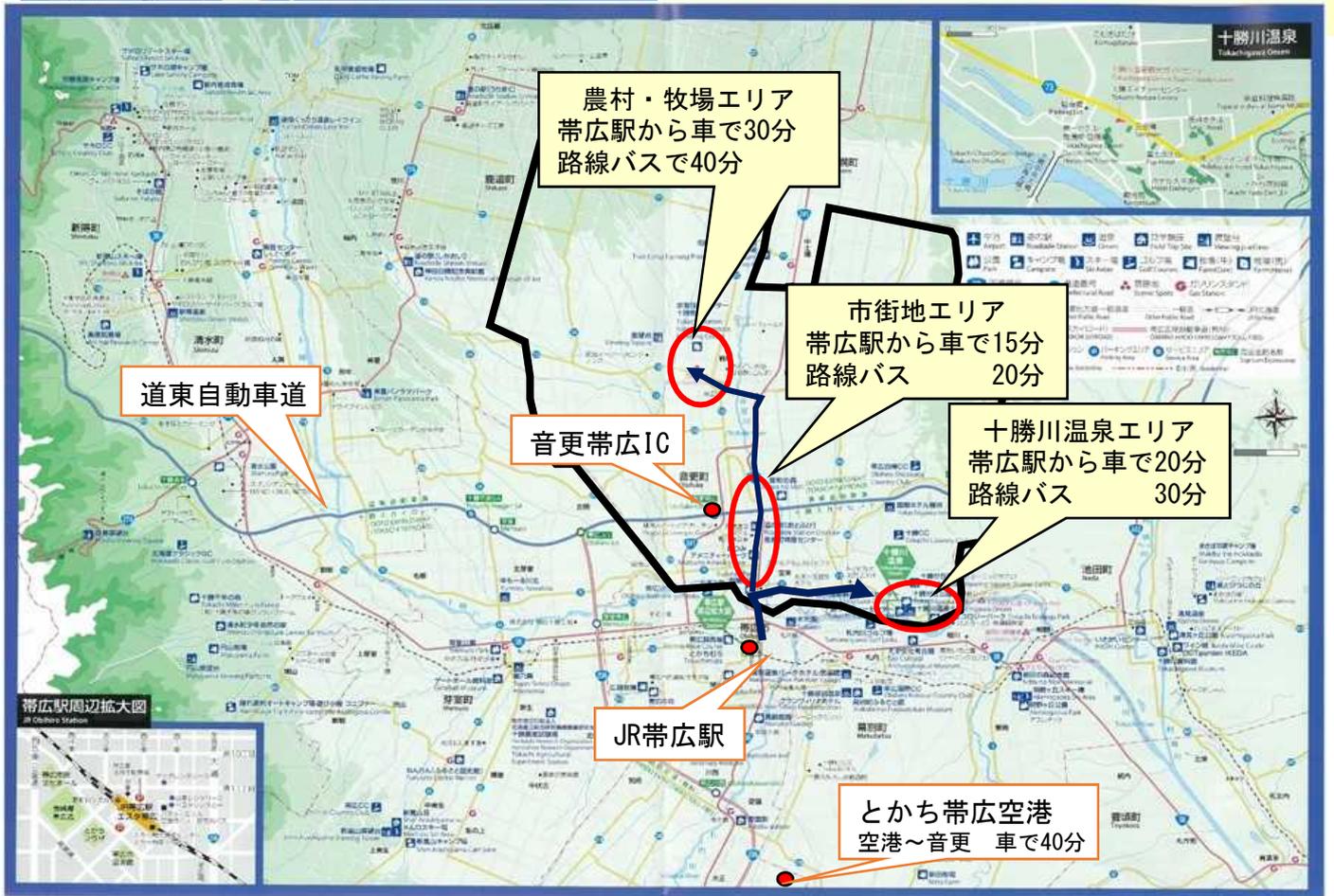
※モール温泉集中管理：温泉の枯渇及び保護の観点から北海道庁の指導により、限定した温泉源泉から温泉水を汲み上げ、配湯所から各ホテルへ温泉管を敷設し、温泉水を提供しています。

【利便性：区域までの交通、域内交通】

主要都市と主要観光地である十勝川温泉の位置関係
及び交通機関



- 札幌から十勝川温泉 約200Km
車/約3時間(道央自動車道札幌市内ICから道東自動車道音更帯広IC)
JR/帯広~札幌約2時間30分
バス/約3時間30分、都市間バス「ポテトライナー」、
観光協会・旅館組合共同事業「モール温泉号(秋・冬
限定)」
- 新千歳空港から十勝川温泉 約170Km
車/約2時間30分(道央自動車道新千歳空港ICから道
東自動車道音更帯広IC)
JR/南千歳~帯広特急約2時間10分
バス/約3時間、都市間バス「ミルクレーライナー」
- 旭川から十勝川温泉 約175Km
バス/音更市街まで約3時間45分 都市間バス「ノー
スライナー」
- 釧路から十勝川温泉 120Km
車/約2時間(道東自動車道利用)
JR/帯広~釧路1約時間30分



(別添) 様式 1

【外国人観光客への対応】

- ①「ガーデンスパ十勝川温泉」における水着着用温浴施設（モール温泉スパ）や十勝の安全・安心でおいしい食の提供、十勝川など豊かな自然を活かしたアウトドア体験を核として、インバウンド取り込みのため施策を計画中
- ②外国人観光客に音更町拠点地区での購買力向上のための施策を模索中
- ③外国人観光客が多い十勝川温泉地域のwi-fi整備

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集する目的	収集する方法
宿泊入込数	宿泊入込の実績把握とプロモーションへの反映	十勝川温泉地区及び音更町全体の宿泊施設から道内外、海外別に実績を収集
宿泊者満足度	地区ごとの宿泊者の満足及びニーズの把握	音更町及びDMO統一アンケート、ホテルアンケートによる道内外、海外別に実績を収集
顧客満足度	観光振興に対する顧客(お客様)の満足度の把握	DMO統一アンケート及びホテルアンケートの活用
比率	宿泊比率の実態検証	DMO統一アンケート、ホテルアンケートによる道内外、海外別に実績を収集 道内外、海外別に実績を収集
新聞及び雑誌等業者	観光振興に対する最新情報の把握	聞き取りを主体に実施
Webサイトのアクセス状況	お客様の関心度や観光商品及びイベントなどの効果判定	ガーデンスパ十勝川温泉及び十勝川温泉観光協会のホームページのアクセス状況を確認

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p><強み (Strengths) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○音更町十勝川温泉観光協会と共同した先駆的な国内外のプロモーションの実施 ○北海道遺産「モール温泉」を資源とした観光 ○町の基幹産業である農業との連携 ○十勝川など十勝・音更の自然を活用した各種アウトドア体験 ○十勝・音更の安心・安全でおいしい食材を活用した食文化（スイーツなど） ○十勝川温泉街のにぎわい創出と地域活性化を目的とした新たな集客拠点施設「ガーデンスパ十勝川温泉」の整備 	<p><弱み (Weaknesses) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光形態の変化（団体型から個人型への変化）に対応する顧客ニーズに合致した地域観光素材の不足 ○外国人誘客に向けた具体策が少ない。 ○十勝川温泉街のホテル館内完結型営業スタイルにより賑わいが失われた温泉街 ○観光客の声・意見を把握し反映するシステムが少なく、計数的かつ具体的な成果把握が不十分 ○十勝川温泉街及び商業施設においてwi-fi環境が未整備
外部環境	<p><機会 (Opportunity) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道東自動車道の札幌直結及び釧路への延伸により、道央圏・新千歳空港からの道外客・外国人客及び釧路方面からの道内客の誘致に好環境が整った。 ○北十勝4町（鹿追町、士幌町、上士幌町、音更町）において広域観光振興連絡協議会を設置し「温泉」「景観」「食」といった観光PR事業も実施 ○「ガーデンスパ十勝川温泉」の整備構想策定時に開催したワークショップにより、十勝及び音更町内の農業、商業、交通、旅行、金融などの多様な関係者との連携・協力体制を確立することができた。 ○十勝管内のチーズ工房等で組織する「十勝品質事業協同組合」による、モール温泉を使用したラクレットチーズの製造・販売事業との連携 	<p><脅威 (Threat) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○道内に訪れる外国人客は道央が主体であり、道東を訪れる外国人客数が少ない。 ○日本人観光客の減少 ○北海道の玄関口である新千歳空港と音更町を結ぶ2次交通手段が少ない。

(別添) 様式 1

(2) ターゲット

ターゲット	階層	選定の理由	取り組み方針
第1	台湾・タイ・シンガポール・香港を中心とした東南アジア (特に富裕層)	近年、他の地域と比較し、北海道に来道数が多く、市場として今後拡大傾向にあるため	日本人の健康長寿の秘訣「美と健康」をテーマに通過型観光から滞在型観光へのシフトと目指し、モール温泉を活用したヘルスツーリズムコンテンツの提供に取り組んで行く。
第2	十勝管内客 (特に女性客と家族客)	地元にも愛されることが、国内客及び海外客から愛される第1要因であるため	音更町だけでなく、近隣町の持つ観光資源との組み合わせによる相乗効果を追求し、地域連携に取り組んで行く。
第3	北海道内客及び国内客 (特に女性客と家族客)	年間約40万人の宿泊実績があり、「ガーデンスパ十勝川温泉」による来訪者増が期待できる。	札幌・千歳空港からのダイレクトな交通手段の構築等、北海道観光機構と連携し、2次交通の確保に取り組んで行く。

(3) コンセプト

コンセプト	北海道遺産「モール温泉」を活かし、「また訪れたくなる」「滞在したくなる」「住みたくなる」にぎわいのある観光地づくり	
考え方	北海道遺産「モール温泉」を活かす	植物性モール温泉による美容と健康増進 温泉熱エネルギーの活用 温泉を活かした新たな特産品の開発
	また訪れたくなる	地元客を含めたりピーター（ファン）づくり
	滞在したくなる	十勝音更の自然を活かしたネットワークを構築 アウトドア体験等各種体験観光の充実
	住みたくなる	イベントの定期開催によるにぎわい創出 安心・安全でおいしい「食」の魅力発信

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	<p>①DMO（十勝川温泉旅館協同組合）が中心となり、音更町の関連事業者による「おとふけ・十勝川温泉観光振興地域づくり協議会」を組織し、関係者の相互理解を促進するとともに、観光振興の認識の共有化等コミュニケーションを図っています。</p> <p>②協議会の開催頻度：3ヶ月に1回</p>
観光客に対するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	<p>音更町内の旅館・ホテルなどの宿泊事業者、飲食店などの観光サービスに関係する事業者に対して、観光サービス優良店評価制度を実施しています。</p> <p>①お客様アンケートの実施と評価チェックリストの作成</p> <p>②優良店の表彰の設立及び広告優先制度（満足度向上店限定）広告・宣伝における特権の実施</p>
一元的な情報発信・プロモーション	<p>年間プロモーション計画を策定し、DMOが一元的に実施するものと各関係者が実施するものに区分してプロモーションを実施しています。</p> <p>特に、第1ターゲットである海外客の誘客のため、海外でのプロモーション活動においては、統一された音更町十勝川温泉のブランドイメージの発信・強化に努めています。</p> <p>DMOホームページを整備して、旅館・ホテル等のホームページとのリンク体制を構築をし、今後、DMOホームページによるワンストップ宿泊予約システムを導入するほか、ホテル等が企画する内容を把握し、広域多岐の情報を一元的に入手できるシステムを構築予定です。</p>

(別添) 様式 1

6. K P I (実績・目標)

(1) 必須 K P I

年度	28	29	30	31	32
宿泊客延数 千人	415.6 (6.31)	442 (7.78)	446 (7.8)	450 (7.9)	455 (8.0)
旅行消費額 円/人	未実施	19,997	21,718	21,935	22,154
来訪者満足 度 %	未実施	81.4	82.8	83.6	84.4
リピーター 率 %	未実施	74.6	52.0	52.5	53.0

<検討の経緯>

音更町が策定する総合戦略との整合や、平成28年から十勝川温泉魅力発信施設ガーデンスパ十勝川温泉の開設にともない、宿泊及び旅行消費額の拡大を期待し目標値を設定した。

<設定に当たったの考え方>

○宿泊客延数等

平成29年度実績を基準に約101%を平成30年度の目標とし、その後、平成32年度まで各年度約1.01倍増加する目標とした。

○旅行消費額

平成30年度実績を基準に前年比1%上昇を目標値とした。

○来訪者満足度

平成30年度実績を基準に前年比1%上昇を目標値とした。

○リピーター率

DMO統一アンケートの見直し(対象期間を過去2年間とした。)により、平成30年度は52%となった。今後、平成30年度実績を基準に前年比1%上昇を目標値とする。

(別添) 様式 1

(2) その他の目標

年度	単位	H27		H28		H29		H30		H31		H32	
		目標	実績										
計数													
宿泊稼働率	十勝川温泉地域	%	30	未実施	30	71	70	75	70	69	75		75
	音更町内	%	21	未実施	21	未実施	50	未実施	50	未実施	50		50
	全体	%	25	未実施	25	未実施	60	未実施	60	未実施	63		63
ワンストップ 窓口での宿 泊予約数	旅行会社HP予約	%	80	未実施	75	未実施	72	未実施	69	未実施	66		63
	各ホテル自社HP 平均予約数	%	20	未実施	20	未実施	21	未実施	21	未実施	22		22
	新HP予約	%		未実施	5	未実施	6	未実施	7	未実施	9		10
メディア掲載回数	回		225	未実施	239	未実施	268	470	484		486		501

<検討の経緯>

平成28年度独自で実施したアンケート結果により上昇修正したが、平成29年度実績と平成30年度
の特性を踏まえ平成31年度以降は、稼働率の高水準維持を目標とした。

<設定に当たっての考え方>

○宿泊客稼働率

十勝川温泉地域は、平成30年度胆振東部地震災害の影響から稼働率69%となったが、過去の実績
から75%を持続させることとして目標を設定した。

○ワンストップ窓口での宿泊予約

過去の温泉各ホテル、主要旅行会社のアンケート結果及び洞爺湖温泉組合の統計(平均値)を参考
に、旅行会社80%、各ホテル20%で平成26年から目標を設定したが、全体をとらえた実績把握にい
たっていない。今後、お客様の宿泊予約の容易性を図るためにも継続した施策を実施する。

○メディア掲載回数

過去のホテル及び主要旅行会社のアンケート結果から販売促進及び宿泊入込数の増加を図るため、
地域の露出度を設定した。この際、平成29年度実績470回を基準として平成30年は1.03、平成31年は
1.035増として目標を設定した。

(別添) 様式 1

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

(単位：千円)

年 度	総収入	内 訳	協同組合
28年度	114,175	【国の補助金】	0
		【音更町の補助金】	0
29年度	184,962	【特別負担金】	0
		【会費】	0
30年度	184,000	【収入売上】	114,175
		【その他】	0
31年度	184,000	小 計	114,175
		【国の補助金】	0
32年度	184,000	【音更町の補助金】	0
		【特別負担金】	0
		【会費】	0
		【収入売上】	184,962
		【その他】	0
		小 計	184,962
		【国の補助金】	0
		【音更町の補助金】	0
		【特別負担金】	0
		【会費】	0
		【収入売上】	184,000
		【その他】	0
		小 計	184,000
		【国の補助金】	0
		【音更町の補助金】	0
		【特別負担金】	0
		【会費】	0
		【収入売上】	184,000
		【その他】	0
		小 計	184,000

(別添) 様式 1

(2) 支出

(単位：千円)

年度	総支出	内 訳	協同組合等
28年度	114,000	一般管理費	51,400
		プロモーション	【国内】 1,000 【海外】 1,700
		【2次交通】	1,500
		【マーケティング】 【宣伝費】 【イベント関係】	2,000 2,000 2,000
		【事業費】 【整備その他】	52,400 0
		小 計	114,000
29年度	244,456	一般管理費	132,030
		プロモーション	【国内】 1,230 【海外】 1,720
		【2次交通】	6,000
		【マーケティング】 【宣伝費】 【イベント関係】	200 3,840 14,750
		【事業費】 【整備その他】	84,686 0
		小 計	244,456
30年度	183,700	一般管理費	80,000
		プロモーション	【国内】 1,000 【海外】 1,700
		【2次交通】	6,000
		【マーケティング】 【宣伝費】 【イベント関係】	2,000 3,000 6,000
		【事業費】 【整備その他】	84,000 0
		小 計	183,700
31年度	183,700	一般管理費	80,000
		プロモーション	【国内】 1,000 【海外】 1,700
		【2次交通】	6,000
		【マーケティング】 【宣伝費】 【イベント関係】	2,000 3,000 6,000
		【事業費】 【整備その他】	84,000 0
		小 計	183,700
32年度	183,700	一般管理費	80,000
		プロモーション	【国内】 1,000 【海外】 1,700
		【2次交通】	6,000
		【マーケティング】 【宣伝費】 【イベント関係】	2,000 3,000 6,000
		【事業費】 【整備その他】	84,000 0
		小 計	183,700

(別添) 様式 1

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

1 観光客の満足度を高め、付加価値の高い着地型体験観光商品等の造成

平成28年秋にオープンした十勝川温泉中心多目的広場「ガーデンSPA十勝川温泉」(モール温泉を活用した水着着用温浴施設、十勝の食を題材とした飲食店・マルシェ、チーズや生ハムづくりを体験できる加工工房、多目的ホール、芝生広場など)を活用した体験観光商品を造成するとともに、北海道・十勝の自然を満喫できる新たなアウトドア体験観光や農業体験観光などの体験観光商品を充実・造成し、観光客の満足度を高め、交流人口の増加と経済波及効果の拡大を図る。

2 会員増加の取組みと会費の増加

会員のマーケティング調査、満足度の把握と問題点の明確化、マーケティングに関する講習会及び人材育成事業を展開し、経済効果を高めるための総合的なサービスの向上施策を模索するとともに、構成員(会員)のDMOに対する認識の共有化と波及効果を高め、会員及び会費を増加を図る。

3 音更町の農畜産物・食材を活用したオリジナル商品(スイーツなど)やモール温泉化粧品を販売「ガーデンSPA十勝川温泉」及びWebでのネット販売

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

音更町は、十勝川温泉旅館協同組合を音更町における地域DMOとして登録したいので、十勝川温泉旅館協同組合とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	松崎康行
担当部署名(役職)	事務局次長
所在地	北海道河東郡音更町十勝川温泉北15丁目1番地
電話番号(直通)	0155-46-2447
FAX番号	0155-46-2533
E-mail	bizinyu@plum.plala.or.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

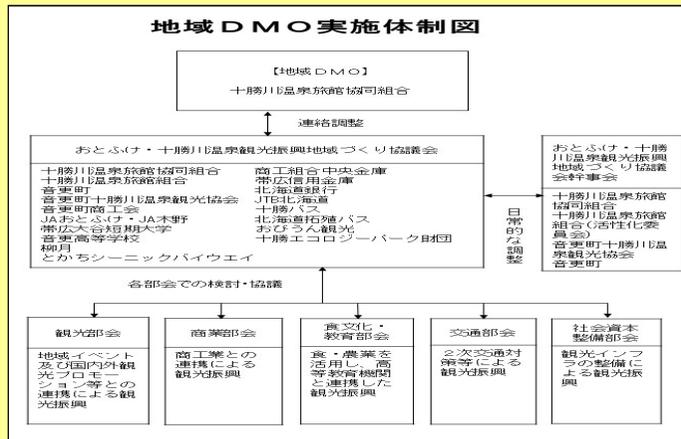
都道府県・市町村名	北海道河東郡音更町
担当者氏名	大田幸司
担当部署名(役職)	経済部商工観光課観光係(係長)
所在地	北海道河東郡音更町元町2番地
電話番号(直通)	0155-42-2111
FAX番号	0155-42-2117
E-mail	kouji_oota@town.otofuke.hokkaido.jp

法人名：十勝川温泉旅館協同組合

北海道遺産「モール温泉」を活かし、「また訪れたくなる」「滞在したくなる」「住みたくなる」にぎわいのある“おとふけ十勝川温泉街づくり”

登録区分名：地域DMO

区域	北海道音更町
設立時期	昭和30年3月28日
代表者	林 文昭（十勝川温泉旅館協同組合代表理事、第一ホテル社長）
マーケティング責任者	松崎 康行
職員数	15人
連携する主な事業者名	十勝川温泉観光振興協議会、十勝エコロジーパーク財団、音更町十勝川温泉観光協会、JTB北海道、音更町商工会、とかちシーニックバイウエイ、十勝バス、おびうん観光



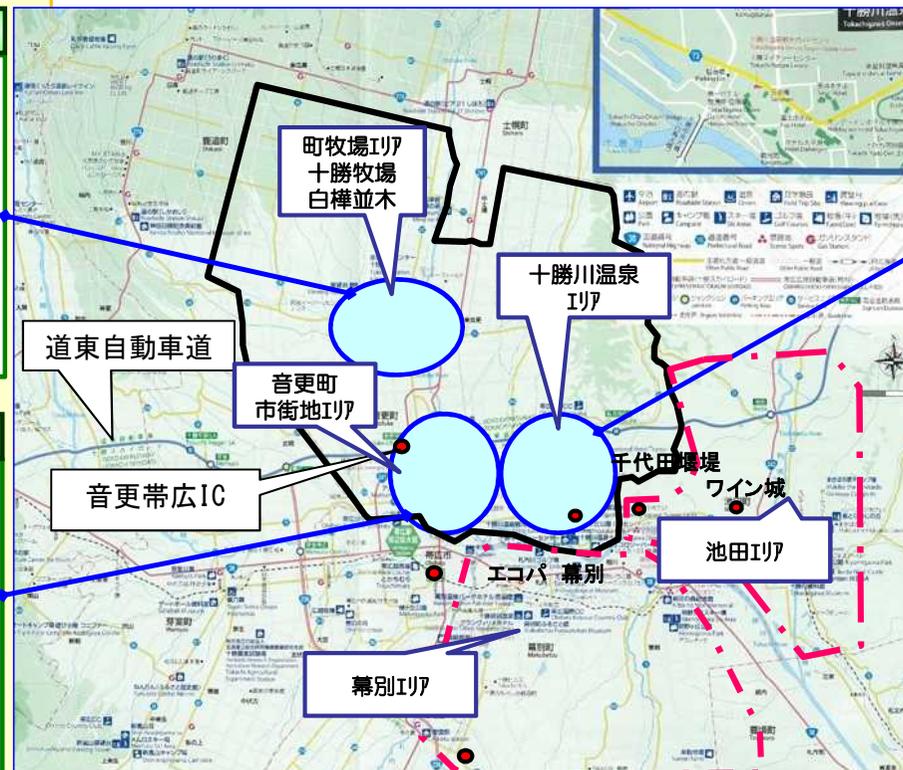
年度	28	29	30	31	32
宿泊客延数千人	415.6 (6.31)	442 (7.78)	446 (7.8)	450 (7.9)	455 (8.0)
旅行消費額円/人	未実施	19,997	21,718	21,935	22,154
来訪者満足度%	未実施	81.4	82.8	83.6	84.4
リピーター率%	未実施	74.6	52.0	52.5	53.0

町牧場エリア

- 1 十勝の広大な牧場（十勝牧場、菜の花畑）を活かした農業観光及び自然（白樺並木）環境を活かした滞在・交流型観光の促進
- 2 地元農家が主催する「麦感祭」（がっかんさい）による交流型コンテンツの充実

音更町市街地エリア

- 1 十勝音更の食文化など地域資源を生かした魅力創造
- 2 商店街におけるインバウンド消費の拡大による地域活性化の拡大（「柳月」工場見学及び音更商工会との連携、免税店の拡大）



十勝川温泉エリア

- 1 音更町基幹産業の農業と観光の連携事業及びの自然環境を活かし道東周遊観光の促進
- 2 自然環境とマッチしたアウトドア体験型観光「着地型観光」を促進
夏：熱気球、十勝川川下リツアー
冬：「彩凜華」、スノーラフティング、スノーシュー
- 3 「ガーデンSPA十勝川温泉」を核としたモール温泉と食と農を観点とした体験型観光の魅力創造

十勝川流域エリア

- 音更町以外の十勝川流域の池田町や幕別町の観光資源と連携した周遊 体験型観光の創造
- 音更町：アツパパークやガーデンSPA十勝川温泉での「ランタナイト」新イベント開催
- 池田町：十勝唯一のワイン製
千代田堰堤 鮭まつり復活
ワインの原料 ブドウ園
- 幕別町：エコパ「幕別エリア」魚道